

まっちゃん ロ-フレケ-ス84 JCDA 振り返り 1/29

設問

[問い1] 良かった質問6つ

- (1) 何でもかんでもリモートというところの何でもとはどういったことですか?
- (2) 酒井さんが感じている普通とはどういった状態でしょうか?
- (3) 連携がとれなくてもしょうがないとはどういったことですか?
- (4) 相互的なコミュニケーションがないで、酒井さんはどのように思われますか?
- (5) お仕事自体についてはどのように思われますか?
- (6) 今働かされている会社について思われていることはありますか?

[問い2]

事例IのCC10 (相応しい・相応しくない) 良かった点

理由: (良) 繰り返されている言葉の「連携」とは相談者にとってどういった意味合いであるのかについて確認することができ自己概念が明らかになった。

事例IIのCC11 (相応しい・相応しくない) 悪かった点

理由: (悪) 相談者が何でもかんでもリモートにすることに納得していないという状態から、どういった仕事のリモートに最適かと考えているのかについて確認できなかった。

[問い3] CC視点の問題

相談者は何でもかんでもリモートだと社内の連携がとれずに働きづらさという思いをみせている。その為、会社が進めているテレワークを活用した働き方についての仕事理解不足が1点考えられる。また、リモートが多いため連携がとれずコミュニケーションの機会がないという相談者の発言より、非対面も含めた社内のコミュニケーション不足がもう1点として考えられる。

[問い4] 今後の展開

社内の連携がとれず働きづらさを感じている相談者の感情を丁寧に傾聴し、リモートワークについて向き合えるように促す。その上で、リモートワークのメリット、デメリットを整理する支援を行い、テレワークを活用した働き方についての理解を深めてもらう。また、相談者がコミュニケーションに対してどのように促しているか確認を行いながら、非対面でのコミュニケーション方法について助言を行う。これにより、相談者が納得いく形で今後の仕事を進めていけるように支援をしていく。